



## 内 容

## 家庭分野

学期・月	教材名	学 習 活 動
1 学 期	4 オリエンテーション	◇技術・家庭の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを知る。
	5 ○ふれあい体験①をする。	○見通しをもち積極的に取り組む姿勢を学ぶ。 ・ふれあい体験をして、課題をもつ。
	○幼児の体の発達 ○幼児の心の発達	・幼児の体の発達の特徴を知る。 ・幼児の心の発達の特徴を知る。
2 学 期	6 ○幼児の生活習慣 ・自分の成長を振り返り、子育てにおける家族の大切さを考えよう。	・幼児期の「こころとからだ」の成長と行動パターンとの関わりを理解し、「幼児をすこやかにそだてるため」の家族の気配りについて考える。
	7 ○幼児の生活と遊び	・「遊び」のもつ役割について学習する。
	11 ・実習の準備 ・ふれあい体験②をする	・「安全」であり、発達段階に応じた「学習効果」のあり、なおかつ、幼児が「興味関心」をひくような内容のあるおもちゃを夏休みに作品を製作し完成させることができる。 ・幼児とのふれあい体験について課題を持つ。 ・幼児と楽しくかかわるための工夫を考える。
	12 ・ふれあい体験②の情報共有振り返り ・子どもの成長と地域 ・幼児を取り巻く環境	・ふれあい体験②をする。 ・ふれあい体験についてまとめる。シェアタイムで他の年齢も知る。 ・子どもに関する諸問題や地域の実態から、家族関係をよりよくするためについて考える。 ・子どもに関わる地域の施設や制度、ニュースなどを調べ考える。
3 学 期	1 ○ふれあい体験③ ・ふれあい体験③の課題をもつ	・ふれあい体験をふり振り返り、最後のふれあいの課題を持つ。
	2 ・ふれあい体験③をする ・「3年間のまとめ」と「15年後の自分」を考える。	・ふれあい体験③を行う ・3年間の学習をまとめを行う。 ・15年後の自分を考え、手紙を書く。

## 評 価

## 家庭分野 &lt;評価の観点&gt;

- ① 生活や技術への関心・意欲・態度
  - ・授業の取り組みを良くする。(聞く姿勢、話す姿勢、調べる姿勢、作業に集中して取り組む姿勢。)
  - ・ワークシートにしっかりとまとめる。
- ② 生活を創意工夫する能力
  - ・作品制作や課題に対して自分なりに創意工夫して表現する。
  - ・整理整頓に心がけ、作業のしやすい状態に整える。
  - ・生活環境への適切な気配りができるようにする。
- ③ 生活の技能
  - ・ワークシートのまとめ方をよりよくしようとする改善、努力する態度がある。
  - ・幼児とのふれあい体験を気をつけて行うことができる。
- ④ 生活や技能についての知識・理解
  - ・授業中の記録がわかりやすくまとめることができる。
  - ・1時間の授業について、自己評価を行い、今後の学習の参考に生かすことができる。



## &lt;評価の方法&gt;

・毎時間の授業への取組(発表や活動内容・聞く・話す・調べる、実践する)、作品の工夫・努力・仕上がり具合、作業記録表、ノート・プリントなどの学習活動、整理整頓、用具機械の安全な使用などの自己評価、他己評価、定期テストなどを基にして総合的に評価する。

## 授業中

- ① 授業の準備をする。(道具やw Sの忘れ物をしないなど授業の約束を守る)
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。学ぶべきところを学ぶ、高め磨く。
- ③ 創意工夫してワークシートをまとめる。

## 復習

- ・自己評価しながら取り組む。(遅れている場合、自分でできることを行う。)
- \*自分以外の作品から学び、次の学習に生かす。



※ 安全で、気持ちのよい授業ができるように、授業の約束は守る。